



石川 寛介

『家康の大砲』 (1)

靖国神社に家康の大砲が保管されていることを知った私は写真入手すべく友人に撮影依頼をしました。この大砲は堺の鉄砲鍛冶、芝辻理右衛門が慶長16年に作ったものです。鍛造か鑄造か長い間議論されましたが昭和58年、日本鉄鋼協会の調査により鍛造品と断定されました。1貫500匁玉を飛ばし、大坂冬の陣（慶長19(1614)年）で活躍したと言われています。

当時の鉄砲や大砲は、銃口から火薬を詰め丸い鉛玉を挿入し、火縄で点火するものでした。鉄砲の大きさはその玉の重量であらわしたのですが、この大砲は古文書によると1貫500匁玉と記載されていました。どうも変だな??疑問が湧いてきました。それは口径が90φmmと書かれていたからです。友人から写真を受け取り、ますます疑問がつのります。東京へ出張のおり、靖国神社を訪問し口径を確認。やはり90φmmより少し大きいだけです。展示品の説明には下のよう

に書かれていました。銃の歴史に詳しい上尾市在住の峯田元治さまに質問をしました。『あれは1貫150匁玉と書かれていたのを誰かが写し間違えたのだ。』そう教わりました。納得です。そこで鉛玉の直径と重量を計算してみました。以下です。最も一般的な火縄銃は玉の直径が約13φmm3匁半のものだったようです。ちなみにパチンコ玉は11φmm、鉛玉だと2.1匁です。



芝辻砲 (しばつじほう)

材質 鍛鉄

全長 3.13 m

口径 9.3 cm

銘記 慶長16年撰州住 芝辻理右衛門助延 作

慶長14年 徳川家康が堺の銃工、芝辻理右衛門に命じて鍛造させ、慶長16年に完成させた大砲で、大坂冬の陣に使用したと伝えられる。長らく鍛造か鑄造かの議論がなされたが、昭和58年産業考古学会による非破壊調査により鍛造であることが明らかになった。明治17年9月14日 砲兵 第一方面より遊就館に移管

玉の直径		鉛玉の重さ	
寸・分	d φmm	g	匁
3寸	90.9	4,457.4	1,189
9分	27.3	120.4	32.1
8分	24.2	84.5	22.5
6分	18.2	35.7	9.5
4分3厘	13.0	13.1	3.5
パチンコ玉	11.0	7.9	2.1

靖国神社 遊就館 (ゆうしゅうかん) 蔵
撮影の許可を頂いた靖国神社さま、
写真を撮影して頂いた、研ぎ師、藤代興里さま
ご協力頂いた方々に感謝します。

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/ryou@memenet.or.jp>

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください!!